

ファンド基準価額の下落について

2014年2月4日

当社公募投信のうち、以下のファンドの基準価額が5%以上下落していますので、お知らせいたします。

※ブル・ベア型投信を除く。

回次コード	2月4日 下落率5%以上のファンド	基準価額	前日比	前日比騰落率
4716	ダイワ拡大成長株ファンド	8,069 円	-591 円	-6.8%
5789	ダイワ上場投信・TOPIX-17 鉄鋼・非鉄	20,259 円	-1,416 円	-6.5%
3083	技術成長株オープン (愛称: ジャパンパワー)	6,090 円	-423 円	-6.5%
5790	ダイワ上場投信・TOPIX-17 機械	25,370 円	-1,697 円	-6.3%
2812	ダイワ・ジャパン・オープン (愛称: D. J. オープン)	6,487 円	-432 円	-6.2%
3702	DC・ダイワ・ジャパン・オープン (確定拠出年金専用ファンド) (愛称: DC・D. J. オープン)	10,671 円	-710 円	-6.2%
5757	通貨選択型ダイワ・トップ・オブ・ジャパン (米ドル投資型)	9,727 円	-646 円	-6.2%
4722	ダイワ日本株・バリュー発掘ファンド (ダイワSMA専用)	17,745 円	-1,174 円	-6.2%
2853	アクティブ・ニッポン (愛称: 武蔵)	6,292 円	-411 円	-6.1%
4732	ダイワ技術立国ファンド	7,856 円	-513 円	-6.1%
3704	DC・ダイワ・アクティブ・ニッポン (確定拠出年金専用ファンド) (愛称: DC武蔵)	12,285 円	-800 円	-6.1%
4734	ダイワ・セレクト日本	8,293 円	-531 円	-6.0%
5850	ダイワ日本株オープン	9,955 円	-629 円	-5.9%
4731	ダイワ新興企業株ファンド	9,989 円	-630 円	-5.9%
1073	新経済大国日本	9,477 円	-596 円	-5.9%
5849	ダイワ成長株オープン	11,200 円	-701 円	-5.9%
5785	ダイワ上場投信・TOPIX-17 建設・資材	16,500 円	-1,020 円	-5.8%
5816	日本エクイティファンド	8,987 円	-544 円	-5.7%
5786	ダイワ上場投信・TOPIX-17 素材・化学	13,285 円	-803 円	-5.7%
5812	彩の国応援ファンド	9,360 円	-565 円	-5.7%
4705	ダイワ隆晴 (日本株式オープン)	7,117 円	-427 円	-5.7%
3191	利回り株チャンス 米ドル型 (年1回決算型)	9,791 円	-579 円	-5.6%
3192	利回り株チャンス 米ドル型 (年4回決算型)	8,780 円	-519 円	-5.6%
2855	デジタル情報通信革命 (愛称: O1O1 (ゼロイチゼロイチ))	4,389 円	-258 円	-5.6%

※当日の収益分配金 (税引前) 支払い前の価額を用いて前日比騰落率を算出しています。

次頁に続きます

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡す「投資信託説明書 (交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等 (外貨建資産には為替リスクもあります) に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212 (営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>



回次コード	2月4日 下落率5%以上のファンド	基準価額	前日比	前日比 騰落率
3033	ダイワ好配当日本株投信(季節点描)	11,290 円	-663 円	-5.5%
4740	ダイワ・ニッポン応援ファンド ― 京都の志士達 ―	10,388 円	-605 円	-5.5%
3088	ダイワ・バリュー株・オープン(SMA専用)	6,959 円	-405 円	-5.5%
3701	DC・ダイワ・バリュー株・オープン(愛称:DC底力)	12,195 円	-709 円	-5.5%
2858	ダイワ・バリュー株・オープン(愛称:底力)	9,326 円	-542 円	-5.5%
5788	ダイワ上場投信・TOPIX-17 自動車・輸送機	18,150 円	-1,053 円	-5.5%
3198	ダイワJPX日経400ファンド(米ドル投資型)	8,553 円	-496 円	-5.5%
3718	DCダイワ中小型株ファンド	12,327 円	-713 円	-5.5%
2857	新世代成長株ファンド(愛称:ダイワ大輔)	7,468 円	-424 円	-5.4%
5859	神奈川応援ファンド	9,193 円	-520 円	-5.4%
5848	静岡ベンチマーク・ファンド	10,343 円	-584 円	-5.3%
3705	DC静岡ベンチマーク・ファンド	14,925 円	-841 円	-5.3%
4717	ダイワ・バリューアップ・ファンド	7,633 円	-430 円	-5.3%
5791	ダイワ上場投信・TOPIX-17 電機・精密	11,068 円	-620 円	-5.3%
5855	ダイワ上場投信 ― 東証電気機器株価指数	145,371 円	-8,111 円	-5.3%
4858	ダイワSRIファンド	9,131 円	-509 円	-5.3%
3711	DC・ダイワSRIファンド	11,283 円	-627 円	-5.3%
5756	ダイワ・トップ・オブ・ジャパン	9,542 円	-529 円	-5.3%
5784	ダイワ上場投信・TOPIX-17 エネルギー資源	11,378 円	-628 円	-5.2%
5798	ダイワ上場投信・TOPIX-17 金融(除く銀行)	10,134 円	-552 円	-5.2%
4761	ダイワ・ニッポン応援ファンドVol.3 ― フェニックスジャパン ―	12,580 円	-684 円	-5.2%
4709	ダイワ日本好配当株ファンド	6,403 円	-348 円	-5.2%
4713	ダイワ・キャッシュリッチ・ファンド	7,786 円	-421 円	-5.1%
4741	ダイワ・ニッポン応援ファンド ― 東海の匠 ―	11,610 円	-617 円	-5.0%
4718	ダイワ・エコ・ファンド	6,430 円	-341 円	-5.0%
1803	大和ベストチョイス・オープン	10,524 円	-556 円	-5.0%

※当日の収益分配金(税引前)支払い前の価額を用いて前日比騰落率を算出しています。

◆以下に主な基準価額変動要因となった市況環境について掲載します。

【本日(2月4日)の国内株式市場】

本日の国内株式市場は大幅に下落し、TOPIX(東証株価指数)は前日比▲57.05ポイント(▲4.8%)、日経平均株価は同▲610円66銭(▲4.2%)となりました。3日(現地)の米国株式市場で、NYダウが▲326.05ドル(▲2.1%)と昨年6月以来の下落幅を記録したことや、為替相場が、3日夕刻の1米ドル=102円台から本日未明には100円台まで円高へ動いたことなどが株価下落要因となりました。また、このところ株価が下落基調にあったところに、本日は取引開始直後から大きく値下がりしたことで、投資家のリスク回避の動きが一段と強まったとみられるほか、信用取引での追加証拠金差し入れ回避のための売りなど、心理的・需給的要因が株価下落を一層加速させたと推測されます。なお、3日(現地)の米国市場では、主要経済指標である1月のISM(全米供給管理協会)製造業景況指数が市場予想を大幅に下回り急激に悪化したことや、1月の新車販売なども市場予想を下回ったことで、景気への懸念が広がり、株式・米ドルが売られました。

【今後の国内株式市場の見通し】

最近の株価下落の背景となっている新興国市場の不透明感がまだ払拭されていないことや、一部の米国経済指標の悪化などを受け、投資家のリスク抑制姿勢は今しばらく継続しそうであり、それに伴い国内株式市場も当面は不安定な推移を余儀なくされそうです。しかし、投資家から不安視されている一部新興国では、すでに利上げなどの対応策が取られており、今後、不透明感は徐々に解消に向かうと思われます。米国経済指標の一部悪化に関しては、寒波など天候要因の影響が大きいとみられ、景気回復の基調に変化はないと考えられます。従って、投資家のリスク回避の動きも次第に緩和に向かい、株式市場も落ち着きを取り戻してくると見込まれます。1月下旬から本格化している4～12月期決算発表では企業業績の順調な拡大が示されており、下落した現在の株価を基準に見ると割安感が強まっています。市場が落ち着きを取り戻した段階では、そのようなファンダメンタルズの改善が再び評価される展開になってくると想定されます。

以上

以下の記載は、金融商品取引法第37条により表示が義務付けられている事項です。お客さまが実際にご購入される個々のファンドに適用される費用やリスクとは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。**ファンドにかかる費用の項目や料率等は販売会社や個々のファンドによって異なるため、費用の料率は**大和投資信託が運用する一般的なファンドのうち、徴収するそれぞれの費用における最高料率を表示しております。また、特定ファンドの取得をご希望の場合には、当該ファンドの「投資信託説明書(交付目論見書)」をあらかじめ、または同時にお渡しいたしますので必ずご覧いただき、投資に関する最終決定はお客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。

ファンドの費用について

ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。			
投資者が直接的に負担する費用		投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
購入時手数料	料率の上限は、 3.15% (税込) です。	運用管理費用 (信託報酬)	費用の料率の上限は、 年2.121% (税込) です。
換金手数料	料率の上限は、 1.26% (税込) です。	その他の費用・ 手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 (その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。)
信託財産留保額	料率の上限は、 0.5% (税込) です。		
※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。 ※ファンドにより異なりますので、詳しくは販売会社にお問い合わせください。 ※くわしくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。			

投資リスクについて

ファンドは値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。また、新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。リスクの要因については、ファンドが投資する有価証券等により異なりますので、お申し込みにあたっては、ファンドの「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

販売会社:	大和証券 Daiwa Securities	設定・運用:	大和投資信託 Daiwa Asset Management
商号等	大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号	商号等	大和証券投資信託委託株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会	日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会	加入協会	一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会